要 望 事 項

会派名 改新

事 業 名	内 容 説 明
新公共施設建設を踏まえた将来的な市財政の健全性確保について	新施設（新図書館・郷土資料館、(仮称)富士山木のおもちゃ美術館、道の駅的施設、科学技術博物館）の建設費、運営管理費、将来的に必要となる修繕費などのライフサイクルコストの明確化及び、それを踏まえた上で健全財政を維持できるという裏付け、財源構成について 明確な説明を求める。
貧困世帯への生活支援制度の拡充について	社会的格差の拡大は大きな課題となっており、そのバロメーターとも言える貧困率は増加傾向にある。 本市においても生活に困窮している世帯は一定数いることから、その支援として、まずは「住」に対する安心の確保として空いている市営住宅の弾力的な利用、提供することを要望する。
温泉会館の早期解体と跡地利用の今後の方向性について	当該施設が令和2年に閉館され既に4年が経過している。 このままでは老朽化は進む一方であり、市の施設として安全に管理しているとは言えない状況であることから、解体、民間企業への売却も視野に早期に方向付けすることを要望する。